

# 鳥羽市防災訓練(南海トラフ地震)に参加しました

三重河川国道事務所では、市町などで開催される水防訓練や防災訓練において、災害対策用車両を用いた実働訓練や展示を行ったり、シンポジウム等で防災のPRを行っています。

今回は、鳥羽市で行われた南海トラフ地震発生後の津波・土砂災害から命を守るため、住民避難訓練と合わせて実施した、防災関係機関等との救助・応急対策活動訓練に参加しました。

事務所からは、衛星携帯電話による支援要請の送受信と災害対策車両（照明車）の派遣を行い、鳥羽市の他の防災機関との連携を確認しました。

◆日 時：平成29年11月18日(土) 14:00～16:00

◆場 所：鳥羽市健康福祉センター前駐車場 他

◆主 催：鳥羽市

◆参加機関：陸上自衛隊第33普通科連隊、第四管区海上保安本部、三重県警察、鳥羽市消防本部  
鳥羽市消防団、鳥羽商工会議所（建設・運輸部会：道路啓開）、伊勢湾防災(株：海面火災消火)  
中部地方整備局（名古屋港湾事務所、三重河川国道事務所） 他



三重河川国道より派遣した照明車



自衛隊・警察・消防による土砂災害の救助・搜索活動



雨の中、熱心に訓練を見学する住民の方々



鳥羽市防災訓練現地対策本部

「土砂災害搜索活動と照明車による搜索支援」

「現地に集結した各機関の車両と訓練本部と訓練見学者」

# 「みえ風水害対策の日シンポ」に事務所長が登壇しました

三重河川国道事務所では、市町などで開催される水防訓練や防災訓練において、災害対策用車両を用いた実働訓練や展示を行ったり、シンポジウム等で防災のPRを行っています。

今回は、みえ防災・減災センター、三重県、三重大学主催の「みえ風水害対策の日シンポジウム」のパネルディスカッション「河川災害への対策を考える」に当事務所長がパネリストとして登壇しました。東京大学の関谷直也特任准教授の「大規模水害時の情報と避難行動」について基調講演の後、風水害発生時の適切な避難行動をとるために、三重大学川口淳准教授のコーディネートのもと岩下事務所長より水防法の改正とあわせて行政（河川管理者）が進めている「水防災意識社会の再生ビジョン」の取り組みなどを紹介しました。

- ◆日 時：平成29年9月24日（日） 13:00～16:00
- ◆場 所：松阪市飯南産業センター 多目的ホール
- ◆主 催：みえ防災・減災センター、三重県、三重大学 共催：松阪市、津地方気象台
- ◆参考HP：<http://www.mie-u.ac.jp/topics/events/2017/08/post-250.html> 参加者：約230名



「ロビーに展示したテック・フォースの概要」など



「行政の取り組みを紹介する岩下事務所長」

# 三重県建設業協会第3回災害対応訓練に参加しました

三重河川国道事務所では、市町などで開催される水防訓練や防災訓練において、災害対策用車両を用いた実働訓練や展示を行ったり、シンポジウム等で防災のPRを行っています。

今回は、三重県建設業協会主催の情報伝達訓練及び災害対応訓練に共催して参加しました。本訓練は、南海トラフ巨大地震など大規模災害時（地震、風水害等）に備え、道路啓開訓練、浸水地域解消訓練、仮設橋設置訓練を行います。三重河川国道事務所もパトロール車による道路啓開の先導や協会会員の方と協同で排水ポンプ車による排水訓練を行いました。

- ◆日 時：平成29年9月5日（火） 8:30～14:30 情報伝達訓練  
平成29年9月6日（水） 9:30～11:30 実働訓練
- ◆場 所：伊勢市中州町地内（宮川左岸河川敷）
- ◆主 催：三重県建設業協会 共 催：三重県、三重河川国道事務所
- ◆参 加 者：三重県建設業協会各支部、三重河川国道事務所 他 約450名



「情報伝達訓練」



「浸水地域解消のための道路啓開訓練」



「排水ポンプ車による排水訓練」

三重河川国道事務所では、市町などで開催される水防訓練や防災訓練において、災害対策用車両を用いた実働訓練や展示を行ったり、シンポジウム等で防災のPRを行っています。

今回は、多気町で行われた大規模災害（地震、風水害等）に備え、住民、行政、防災関係機関等の連携強化を目的とした訓練に紀勢国道事務所と参加しました。「防災情報入手講習」として雨量や河川水位など情報の入手方法の他、櫛田川の浸水想定区域等についてお話ししました。他に三重は排水ポンプ車、紀勢は道路パトロール車の展示、機能の説明等を行いました。

◆日 時：平成29年9月3日（日） 9:00～12:00

◆場 所：多気町民文化会館前駐車場周辺

◆主 催：多気町

◆協力機関：松阪地区広域消防組合、陸上自衛隊第33普通科連隊、津地方气象台、三重県、三重県警察、日本赤十字社三重県支部、松阪地区医師会、多気町社会福祉協議会、県立相可高等学校、多気町主防災組織、多気町消防団、紀勢国道、三重河川国道 他住民参加者含めて 約500名



「防災情報入手講習」



「排水ポンプ車と道路パトロール車」の説明

# 尾鷲市土砂災害総合防災訓練に参加しました

三重河川国道事務所では、市町などで開催される水防訓練や防災訓練において、災害対策用車両を用いた実働訓練や展示を行ったり、シンポジウム等で防災のPRを行っています。

今回は、尾鷲市で行われた土砂災害を想定した訓練に紀勢国道事務所と合同で参加。三重は衛星通信車等の通信機器を用いて災害現場の状況を現地対策本部への映像配信を、紀勢は、道路パト車両による緊急車両の先導や照明車による被災現場の照明で訓練に参加しました。

◆日 時：平成29年6月25日(日) 9:00~11:00

◆場 所：尾鷲市三木里町

◆主 催：尾鷲市、共催：三重県

◆参加機関：陸上自衛隊(第10飛行体他)、管区警察局、尾鷲警察署、三重県(紀北活性化局、尾鷲建設、防災航空隊)、尾鷲海上保安部、紀北消防組合、尾鷲消防署・消防団、尾鷲市建設業協会、県ドローン協会、尾鷲市自主防災会連合協議会、紀勢国道、三重河川国道 他 約250名



照明車による被災状況の照明



災害対策本部への映像配信状況

# 伊勢市中島学区の防災イベントに参加しました

伊勢市「中島学区まちづくり協議会」では、安全・安心な街づくりをめざし平成24年度より伊勢市、津地方气象台、京都大学防災研究所矢守研究室と一緒に地域気象情報の理解など地域防災に取り組んでいます。三重河川国道事務所は今回3回目の参加で、地域の方と中島小学校5・6年生と一緒に、ハザードマップを見ながら「洪水避難シート」を作成しました。

- ◆日時：平成29年6月17日(土) 8:30~12:40
- ◆場所：伊勢市立中島小学校 各教室と体育館
- ◆主催：中島学区まちづくり協議会
- ◆参加者：中島学区の方、中島小学校（先生・児童）  
京都大学防災研究所矢守研究室（協力）  
伊勢市、津地方气象台、三重河川国道事務所 約200名
- ◆内容：防災教育（授業） 8:30~11:15（小1~6・小5・小6は9:30まで）  
地域防災イベント 9:30~11:30（小5・小6と地域の方等）  
意見交換会 11:50~12:40（まち協・小学校・气象台他）



あたらしい浸水想定の説明



会場の様子

平成29年度中島学区防災イベント

## いのちを守る防災訓練

中島小学校の子どもたちと  
災害からのちを守る方法について  
一緒に考えてみよう

**6月17日(土)**

場所：中島小学校体育館  
午前9時開始(2時間半程度、雨天決行)

土曜授業では  
災害が起きる前 災害が起きた時 災害が起きた後  
どうすればよいかを学びます。

※中島小学校では、当日午前8時15分から午前11時15分まで、土曜授業を実施しています。駐車場のご用意はありません。お車の方は、宮川河川敷に駐車の上、お越しください。

中島学区まちづくり協議会 電話 0596-65-6081  
協力 京都大学防災研究所 FAX 0596-65-6082

宮川があふれる！家族を守るための早目の行動！！

### の避難先：

避難指示（緊急）	緊急避難所
安全な所に避難済み	
避難勧告	
A欄のシールを貼る	宮川親水公園入口
B欄のシールを貼る	
台風が近づくと	
C欄のシールを貼る	

水位が上がり、危険が懸念されます  
台風接近

台風がこれから伊勢市に近づいてくる予定です。大雨や強い風に備えましょう。あなたの洪水避難シートを速やかに行動してください。危険を感じたら、避難場所によらず、早急な行動を。

【洪水避難シート】

<伊勢市中島学区まちづくり協議会のホームページにも掲載されています>  
<http://nakajimamk.sakura.ne.jp/>

# UAV(ドローン)の操作訓練を実施しました

三重河川国道事務所では、河川や道路の平時の管理や災害時の被災状況把握に、UAV（ドローン）を活用するための基礎操作訓練を実施しました。

参加者からの声では、操作方法は簡単に理解できたが、機体が軽いため、少しの風でも機体があおられ定位置に着地するのが意外に難しいとのことでした。

- ◆日 時：平成29年6月16日(金) 13:00~15:30
- ◆場 所：鈴鹿市庄野町981-1 河川防災センター
- ◆参 加：三重河川国道事務所、津松阪港事務所 14名
- ◆講 師：中部技術事務所 3名
- ◆訓練内容：座学 ドローンとは、航空法の規制、操作方法について  
実技 離陸・ホバリング・前後左右の飛行・着陸等



座 学



実機での実践訓練

# 平成29年度 鈴鹿市消防団水防工法講習会に参加しました

昨年度に引き続き鈴鹿市消防団による水防技術の向上と水防体制の充実を得ることを目的に水防工法講習会が開催されました。

鈴鹿市からは市内で過去に発生した内水氾濫などについて説明、三重河川国道事務所からは水防工法のパネルを提供、訓練時のアドバイスをを行いました。

- ◆日 時：平成29年6月4日(日) 9:00~11:45
- ◆場 所：鈴鹿市庄野町981-1 河川防災センター
- ◆主 催：鈴鹿市消防団（女性消防「Hiまわり分団」も参加）
- ◆参加機関：鈴鹿市消防団、鈴鹿市（危機管理課・消防署）  
三重河川国道事務所 約80名



釜 段 工

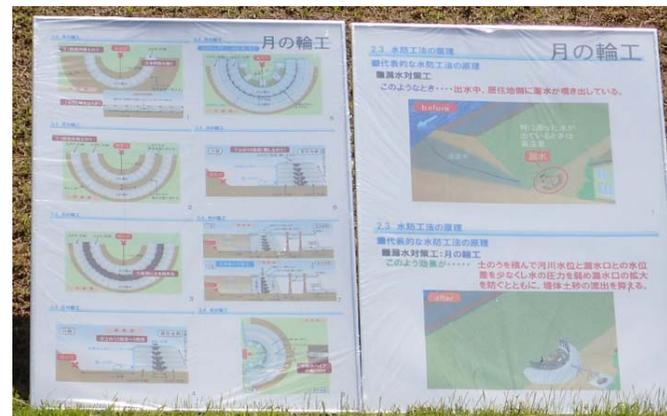


月 の 輪 工

<鈴鹿市のホームページにも掲載されています>  
<http://www.city.suzuka.mie.jp/bousai/report/files/0438.html>



鈴鹿市防災危機管理課職員による  
河川防災センター室内での講義



水防工法のパネル

# 伊勢市水防訓練で照明車・排水ポンプ車を展示しました

三重河川国道事務所では、市町などで開催される水防訓練や防災訓練において、災害対策用車両を用いた実働訓練や展示を行ったり、シンポジウム等で防災のPRを行っています。

今回は、伊勢市の水防訓練に参加、排水ポンプ車や照明車を展示し、訓練参加の皆様や見学者の方にパネル等を用いて車両の紹介や活動実績の説明を行いました。

- ◆日 時：平成29年6月4日(日) 9:30~11:30
- ◆場 所：伊勢市御薊町(宮川ラブリバー公園)
- ◆主 催：伊勢市
- ◆参加機関：伊勢市、伊勢市消防団、三重河川国道事務所 約130名



木流工



パネルでの車両の説明



災害対策車両の展示



提示したパネル

# 災害対策用機械の操作訓練を実施しました

三重河川国道事務所では、毎年、三重県内の直轄事務所と合同で三重県・県内市町、三重県建設業協会会員の方に災害対策用車両等を用いた実働訓練の指導を行っています。

今回は、櫛田川の河川敷で小雨の中、約100名の方が午前・午後に分かれて衛星通信車、排水ポンプ車や照明車の操作手順を説明を受けながら、実際に操作してもらいました。

◆日 時：平成29年5月25日(木) 9:30~15:30

◆場 所：松阪市早馬瀬（櫛田川 河川敷）

◆参加機関：参加者 100名

三重県建設業協会 AM 28名・PM 19名

自治体(三重県・管内市町) 27名、

国交省 11名、スタッフ 15名

◆訓練内容：排水ポンプ車・・・排水ポンプ設置、実排水作業、撤収

照明車・・・・・・設置展開、点灯、撤収

衛星通信車 Ku-SAT II・・・テレビ会議



照明車の操作訓練



衛星通信車の操作説明



排水ポンプ車の操作訓練



# 災害対策用機械の操作訓練を実施しました

三重河川国道事務所では、毎年、三重県内の直轄事務所と合同で災害対策用車両等を用いた実働訓練を行っています。

今回は、櫛田川の河川敷で排水ポンプ車や照明車の操作手順を専門技術系の職員が1つ1つ確認しながら実践さらがらに訓練を実施しました。

- ◆日 時：平成29年5月24日(水) 13:30~16:00
- ◆場 所：松阪市早馬瀬 (櫛田川 河川敷)
- ◆参加機関：北勢国道事務所、木曾川下流事務所、  
三重河川国道事務所、紀勢国道事務所 7名



照明車の操作訓練



排水ポンプ車の操作訓練